

第 77 号 地域開発みちの会



みちの会だより

<http://www.aichi.michinokai.cc> 発行責任者 山中和子

26 年度総会でお会いしましょう

「初桜 折りしも今日は よき日なり」

松尾芭蕉

桜の便りが待ち遠しい季節になりました。皆さんの地域ではもう蕾が膨らみ始めているのでしょうか。早いもので、今年度もあとわずか、新役員・幹事さんにバトンタッチをする時期になりました。昨年 4 月の総会で、「できる範囲内ですが、精一杯務めます」とご挨拶をしたのが昨日のことのようでもあり、ずいぶん前のことのようにも思います。

振り返ると、各ブロックの多様で熱心な取り組み、新たな試みを加えた「議員と語る会」やフォーラム、そして親睦を深めた研修会など、盛りだくさんな一年でした。いろいろ失敗をしながらも、多才な幹事の方々、会員の皆様のご協力のお陰で、無事に楽しく事業が終えられたことを大変嬉しく思います。同時に、この一年で学んだ多くのことを、これからの活動に活かしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

平成 26 年度総会で皆様と元気にお会いできるのを楽しみにしています。

地域開発みちの会 会長 山中和子

平成 26 年度 総会のお知らせ

日時 4月14日(日) 10:00

会場 東海市市民活動センター大会議室
(太田川駅前ショッピングセンターソラト 3 階)

- 25 年度活動報告・ブロック活動報告
- 25 年度会計報告
- 26 年度新会員紹介・退会会員報告
- 26 年度役員・幹事・会計監査
- 26 年度活動計画
- 26 年度予算
- 会則変更

…(昼食)…

13:00 第1回全体会



名鉄常滑線太田川駅東出口正面すぐ

第26回 知多・名古屋女性フォーラム



1月26日に、眺望豊かなJA あいち知多総合本部ビル7階大会議室で行われた、第26回知多・名古屋女性フォーラムには、会員56人を含んだ約300人が参加、「多様な生き方・働き方が選択できる社会」について、語り合った。

インディアンフルートの演奏に続いて、山中会長、片岡常滑市長、吉本愛知県副知事のあいさつ、25年度活動報告、DVD

「これからの男の生き方！イクメン・カジダン・共同メン」を上映した。

吉本副知事から、「女性の活躍促進」の県政策について考えを聴くことから始まった座談会では、飯尾中日新聞論説委員の絶妙なコーディネートにより、みちの会会員大寄、岡本両氏の意見を引き出した。

厚生労働省から昨年7月に現職に就任した副知事は、愛知県の特徴として「経済的に非常に豊か。男性中心の企業雇用があり、女性はそれを支えるというビジネスモデルがある。そのため固定的な役割分担意識が高く、労働率は全国より高いが、M字カーブは谷が深い。減った一時期より逆に増えてきている現状がある」としたうえで、「まずは、庁内に女性の活躍を推進するプロジェクトチームを設置、26年度からは男女共同参画室を課に昇格。人員体制も整えてプロジェクトを推進していく」と語った。



子育て、介護による現職のリタイアは、男性の問題になって初めて企業があわてだした。ワークライフバランス推進は、企業、とくにトップの考え方を変えない限り実現できない。経営戦略として定着、浸透させ実践できるような形にもっていく。働くことで悩んだ時に生かせるような、横のネットワークが必要ということで、「あいち女性連携フォーラム」を立ち上げた。それも愛知県の女性の力にしていく考え。（関

連記事 3P)

一時期だけ子育てや介護に軸足を向けるような柔軟な働き方スタイルを、男性も含め実現させていく。子育て支援へのプライオリティを高めていきたい、と副知事は語った。

会場からの質問も交え、「既存の働き方では解決できない課題を抱え今、新しい試みが増えていく。愛知モデルと一緒に作っていきたい。いろいろな形で皆さんと、連携・役割分担していきます」とまとめた。

岡本一美



寒風吹きすさぶ中、駐車場係りの会員が大活躍した

「あいち女性連携フォーラム」設立



NPO法人J-Win
理事長
内永ゆか子氏

愛知県は、女性を中心に男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいる団体が、相互交流を行うことにより、各団体が実施する活動の効果を高め、女性のエンパワーメントに資するとともに、県内全域における女性の活躍促進の気運を醸成する目的で「あいち女性連携フォーラム」を立ち上げた。その設立イベントが、1月24日、事務局となる（公財）あいち男女共同参画財団の主催でウィルあいちにて開催された。

吉本明子副知事は、「女性が元気に働き続けられる愛知」の実現を目指し、追い風に乗っていききたいと設立のあいさつを行った。地域開発みちの会は、愛知県女性地域実践活動交流協議会の構成団体としてフォーラムへ加入することとなる。この日は設立記念講演として、NPO法人J-Win 理事長の内永ゆか子氏が、自身の経験から下記のような女性たちへのエールを語った。

紺のスーツにハイヒール、クォーター制は嫌い、施策はもういらぬと言う内永さんのこれまでの実績と自信と清々しさに、心から“カッコイイ”と思う講演であった。加藤美幸

- 日本IBMで業界初の女性取締役となり、企業における女性幹部及び候補生たちの相互交流・研鑽のためのNPO法人J-Winを立ち上げた。
- 会員企業のダイバーシティ推進の支援として業種や職種を超えた女性ネットワークを通じ、女性リーダーの育成に努めている。
- 女性活用はグローバル時代の経営戦略でありイノベーションの原動力。
- 役職に上げられる女性候補者をたくさん作ることに、女性たちには高い目標を掲げチャンスにチャレンジし、そのための強みを持つことが大事。
- オールド・ボーイズ・ネットワーク(会議)で女性が無視されないために、“最初に枕詞で相手をほめ耳を開かせ意見を言う、寸止めでやめておく、貸し借りをわきまえる、服装に気を付ける”など男性社会のしきたりをわきまえる。
- ポジションが上がれば大きなことができる。
- 馬に乗ったら乗り続けよう。Women to the Top!

「男女共同参画サテライトセミナー」

2月8日（土）南知多町総合体育館において、南知多町、あいち男女共同参画財団の主催による男女共同参画サテライトセミナーが開催されました。同朋大学で高齢者福祉が専門の伊東まり子教授による「男女共同参画のなかのサクセスフル・エイジング」というテーマで進められました。

人口減少・超少子・高齢社会の到来が叫ばれている中、生き活きと年齢を重ねるには、もう歳だからという老いを加速させる負



の思考を捨て、老化は克服できるもの と前向きに暮らしていくように提言がありました。最後に、学会のマドンナと呼ばれる先生の「まり子体操」を参加者とともに体験し、笑顔で閉会しました。

まさにみちの会会員に通じるものを感じ、今後の活動をしていく上で大きな勇気を与えられた講演でした。

鈴木伊代子

第5回全体会&新年会



全体会で、あいさつする
25年度山中和子会長

2月11日(火)11:00より常滑市りんくう駅前アリラガーデンリゾートにて全体会が開催され、会員41名による話し合いが行われた。内容は「知多・名古屋女性フォーラム」の反省と、次年度から名称を「地域開発みちの会フォーラム」に変更することが決定した。

また、会計監査の役割や役員会・幹事会について見直し、会則変更を新年度総会で決議することになった。

引き続き正午より新年会が行われた。普段は結婚式場のリゾート風な会場が、バレンタインにちなんだ装飾が施され、知多半島の海の幸山の幸を用いたフレンチを味わうことができた。この一年を振り返ると、地元常滑をはじめ、それぞれの地域の人材や資源を掘り起こし、活用した取り組みができたことが成果である。フィナーレは、ムラカミマサヒコさんのギターで「上を向いて歩こう」を合唱し、会員の絆がさらに深まった。

加藤美幸

情報交差点

「愛知県女性地域実践活動交流協議会 平成26年度総会・講演会」

日にち： 5月13日(火)

場 所： ウィルあいち セミナールーム1・2

【講演】10:30～12:00

「経済再生における女性の役割」 (仮題)

細川 昌彦氏 (中部大学、中部高等学校学術研究所教授)

*会員無料、一般の方500円

【総会】13:30 より 議事

編集後記

2度の大雪に見舞われる等、大変寒い冬を越し、やっと春がやってきました。しかし震災後3年が過ぎても、被災地の復興が遅々として進まない状況に、底抜けに明るい毎日を過ごすこともできない私たちです。25年度は、憲法や社会保障、雇用法等、日本社会の基盤をつくるしくみについて学んできました。折も折、愛知県副知事に厚生労働省労働畑から吉本明子さんを迎え、経済大国あいちの女性の活躍促進政策が進み始めました。期待とともに、フォーラムで「役割分担」と言われた事を念頭に、地域開発みちの会の、今行すべきことを精査していくときです。



編集委員 加藤美幸 岡本一美

ご意見・希望をメールにてお寄せください

h_ktmk@yahoo.co.jp sachita@amsodhne.jp